

総合格闘技の歴史と今後における発展についての考察

The history and perspectives of Mixed Martial Arts

1K05B094-5

小松原 翔太

指導教員 主査 寒川恒夫 先生

副査 瀬戸邦弘 先生

【目的】

私は高校生の時に総合格闘技の魅力にとりつかれて以来、長い期間このスポーツを見続けてきた。このスポーツは制約の限りなく少ないルールの中で、ファイター達が日々鍛えた肉体と技術を駆使して闘う。肉体ひとつで選手たちがぶつかり合う激しい攻防、そしてそれらが生み出すドラマは他の競技では見られない、このスポーツの大きな魅力だ。だが、現在この日本において普段このスポーツを見る機会は少ない。かつては様々なテレビ局で放送されていたが、今では有料チャンネルのみだ。かつては、オリンピック金メダリストの参戦などで世間の大きな注目を集めたりもしたが、今では人々の話題となる事は少ない。どうしてこのような現状になってしまったのか。その原因を、総合格闘技が辿ってきた歴史を振り返りつつ考察し、まとめたいと考えたから。

【方法】

自分が所持している当時の雑誌や大会パンフレット、書籍などから総合格闘技が辿ってきた歴史を振り返り、会場やテレビ観戦によって長い期間自分が直接目で見て、肌で感じてきた事をもとに、この競技の今後の発展のために自分なりの考察を行った。

【結果】

総合格闘技の歴史を辿ってきたところ、日本において大きく発展し衰退したこと、アメリカで人気が発見し巨大市場に成長したことには多くの理由があることがわかった。それらの理由をヒントに日本で今後人気を復活させるためには何が必要かをまとめた。

【考察】

第一章 日本における総合格闘技の歴史

第一章では第一次 UWF 発足から、UFC の発足とともに国内で高まった「真剣勝負論」、そしてヴァーリ・トゥード・ジャパンの開催を経て、発足した国内団体の PRIDE によって迎える国内の総合格闘技人気の絶頂、そして PRIDE 崩壊とともに迎えた国内人気の衰退とその後の展開を時系列に沿ってまとめた。

第二章 アメリカにおける総合格闘技の歴史

第二章では、アメリカの総合格闘技の歴史とも言える UFC の歴史を初期の低迷期、運営会社変更後の転換期、様々な工夫によって人気を獲得した成長期、そしてアメリカ国内でベースボールやアメリカンフットボール、バスケットボールと並ぶ人気スポーツとなるまでに成長した現在の絶頂期に分けてまとめた。

第三章 日本の総合格闘技についての考察

第三章では、日本においてなぜ総合格闘技人気が高まり、PRIDE 崩壊とともに人気が衰退していくことになったのか。プロレスとの関連や、スター選手の存在が人気の上昇に大きく影響しており、人気の衰退には PRIDE の崩壊だけではなく、その時期と重なったアメリカでの UFC 人気の高まりや、日本におけるテレビの地上波放送の撤退などが関係していた。それらを詳しくまとめた。

第四章 アメリカの総合格闘技についての考察

第四章では、アメリカにおける総合格闘技人気が発見した理由には、UFC の巨大化が大きく影響していた。それに成功した理由を、アメリカのテレビ文化や UFC の運営方法など、大きく 6 つに分けてまとめるとともに、日本の団体と異なる UFC にのみ見られる特徴、そして近年露呈した UFC が現在抱える問題をまとめた。

第五章 日本における総合格闘技の今後についての考察

第五章では、ここまでまとめた内容から今後日本において総合格闘技人気が再び上昇し、相撲やボクシングと同様に格闘技の一種目として人々に広く認知され、確固とした地位を築くにはどうしたらよいかを、現在まで日本が辿ってきた歴史や日本の現在の閉ざされて縮小してしまった市場のなかにも見える可能性、そしてアメリカでの UFC の成功例をもとにして、自分なりに考察してまとめた。